

インターオプト開催報告



開会時のテープカット風景

会場風景

最先端光技術の展示会である当協会主催のインターオプトを 10月27日（水）～29日（金）の3日間、東京ビッグサイト南ホールにて開催した。

今年のインターオプトは社会情勢およびマーケット動向を鑑みリブランディングを行い、「光&次世代アプリケーション・ネットワークシステム展示会」として、新たに、「JPCA Show」を中心に構成される「電子機器トータルソリューション展2021」の中で行われた。「JPCA Show」との同時開催により、光技術と電子技術の融合による新たな価値創造に向けた総合技術展示会への第一歩を踏み出したものと考えている。

同時開催展示会は、光関連の「LED JAPAN」「Imaging Japan」に加えて、電子機器・デバイス・実装機器の総合展示会である「JPCA Show」の他、「Smart Sensing」「Edge Computing」等の全12展示会で実施、インターオプトの出展社数は単独で33社、33小間であった。

出展対象は、自動車・車載、光通信・データ伝送、製造・生産、AV・家電、ヘルスケア・医療分野など広範囲にわたり、新たにデジタルトランスフォーメーション時代に対応する光技術・光機器の展示会となった。

展示ホールでは、恒例の「注目される光技術・特別展示ゾーン」も設置し、当協会の光技術動向調査委員会から推薦された2団体が当協会からの出展支援を受けて技術・商品を展示した。一方、当協会ブースでは、光産業・技術の概要を写真・パネルにて展示、特に光産業・技術に関する調査研究に関しては、各種調査報告書の展示、技術情報レポート等の無料配布など、当協会の活動紹介、光産業・技術の最新情報の提供などを行った。

企画・推進は株式会社JTBコミュニケーションデザイン、後援・協賛は経済産業省ほか多数の団体より得た。

インターオプトに後援・協賛をいただいた団体は次の通り。（順不同）

後援（4団体）： 経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構、公益財団法人日本科学技術振興財団

一般財団法人対日貿易投資交流促進協会

協賛（14団体）：公益社団法人応用物理学会、一般社団法人電子情報技術産業協会

一般社団法人電子情報通信学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本電機工業会

公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本電線工業会、一般社団法人日本光学会

特定非営利法人日本フォトンクス協議会、一般財団法人マイクロマシンセンター

一般社団法人レーザ学会、一般社団法人レーザ加工学会、レーザ協会

レーザー輸入振興協会

なお、今回のインターオプトは、2022年6月15日（水）～17日（金）の3日間、東京ビッグサイト 東ホールにて、今回と同じく「電子機器トータルソリューション展 2022」の中で開催する。

先端光技術の最新動向とより幅広い技術との融合による応用可能性を訴求できる場となるよう、準備を進めている。